

# 大熊町を 端から端まで 知りつくそう！

## ●第7回 大野駅

大野村では、明治三十六年、村長石田茂宗氏は村委会において、停車場誘致を議決した。その結果「駅設置に要する三六〇〇坪を村で買収、これを日本鉄道株式会社に大野村名義で無償譲渡する。ただし設置は村請負とする」ことで日本鉄道株式会社との間に、大野駅設置契約が成立した。これを受けて、村民の手で明治三十七年四月起工、十一月竣工した。（町史より抜粋）

鶏が卵を産まなくなるとか眠られないとか交通の利便さよ

明治五年、日本に初めて鉄道が開通して以来、鉄道敷設の波は各地に及んで急速に広がつていった。

明治三十年常磐線は日暮里、岩沼間全線開通した。開設当時駅は三十六駅しかなく久之浜、中村間は一つの駅も無かった。その後各地に停車場誘致運動が起り、明治三十一年に富岡、長塚駅が出来た。

大野駅では、明治三十六年、村長石田茂宗氏は村委会において、停車場誘致を議決した。その結果「駅設置に要する三六〇〇坪を村で買収、これを日本鉄道株式会社に大野村名義で無償譲渡する。ただし設置は村請負とする」ことで日本鉄道株式会社との間に、大野駅設置契約が成立した。これを受けて、村民の手で明治三十七年四月起工、十一月竣工した。（町史より抜粋）

当時は蒸気機関車の煙りや音が住民にとって驚異で、鶏が卵を産まなくなるとか眠られないとか交通の利便さよ

りも不安を煽る風評があつて誘致の反対なども起きたといわれている。

# ふるさと 再発見

## 公共施設を訪ねて

### 駅の変遷

夜ノ森～富岡間で上りに乗り車した時右前方に海が望める地点がある。常磐線では一ヵ所だけで珍しく鉄道ファンに

必見。昔、高校の入試問題に出たことがあつたそうである。

\* \* \* \* \*

国鉄マンとして長年大野駅や郡内の駅に勤務されてきた山下左内氏に当時の思い出を伺いました。



大野駅東口

それほど沢山の人が乗つていたんだ。貨物で一番多かつたのは薪だつたね。沢山の薪が東京方面に出荷された。ある時、薪を積んだ貨物が一両逃げて行つてしまい、機関車で連れて来たことがあつたつけ。大野駅は高い場所にあるから乗つていた人が、トンネルの近くでうつかり頭を上げてしまつて頭を打つて死んでしまつたという事故もあつた。

十五キロ箱が六百個、最盛期



昭和39年当時の職員

は八百個あつた。今はほとんどトラックだけ。とにかく貨物が多かつた時は列車は多く通っていた。一日八十本は通つたね。長町を十～十五両で出てきて徐々に貨車が連なつて大野駅近辺では四、五両になつてホームから外れそうだつた。北海道からの石炭もあつたから重たくて双葉からくる時、トンネルの前で車輪が空転してしまい、双葉まで戻つて再度石炭をくべて登つて来たことが何度もあつた。東京近辺で荷物を降ろしてしまつから下りの貨車は半分以上カラだつたよ。

現在は、どこの駅でも簡単に印刷された切符が出てくるが、手書きの切符もあつた。大きな駅の切符はちゃんと印刷されていたが、他の小さな駅までの切符は運賃を調べて書いたんだ。運賃改正があった時は、夜遅くまでかかって運賃表を書き換えた。

いまはもう、ずいぶん合理化が進んで、職員は二、三人しかいなくなつてしまつてさびしいね。

は八百個あつた。今はほとんどトラックだけ。とにかく貨物が多かつた時は列車は多く通っていた。一日八十本は通つたね。長町を十～十五両で出てきて徐々に貨車が連なつて大野駅近辺では四、五両になつてホームから外れそうだつた。北海道からの石炭もあつたから重たくて双葉からくる時、トンネルの前で車輪が空転してしまい、双葉まで戻つて再度石炭をくべて登つて来たことが何度もあつた。東京近辺で荷物を降ろしてしまつから下りの貨車は半分以上カラだつたよ。

現在は、どこの駅でも簡単に印刷された切符が出てくるが、手書きの切符もあつた。大きな駅の切符はちゃんと印刷されていたが、他の小さな駅までの切符は運賃を調べて書いたんだ。運賃改正があつた時は、夜遅くまでかかって運賃表を書き換えた。

## 大野駅の沿革

明治37年11月22日	日本鉄道大野駅営業開始
" 39年3月31日	国有となる
" 41年12月5日	東武鉄道管理局仙台運輸事務局管轄
昭和16年5月11日	大野駅改築
" 25年8月1日	水戸管理局となる
55年4月1日	営業（出札、荷物）業務委託
"	鉄道弘済整備株式会社
30年6月7日	跨線橋改築
"	草野～岩沼電化開通
42年8月23日	第一種継電連動装置使用
"	48年1月1日
50年11月20日	CTC運転取扱開始
"	51年2月23日
55年4月1日	大野～双葉間複線開通
"	営業（出札、荷物）業務委託
56年4月1日	鉄道弘済整備株式会社
"	水戸開発株式会社発足引き継ぐ
63年3月31日	大野駅自由通路完成
平成14年3月	大野駅西口・東口エレベーター設置
5月	大野駅中央エレベーター設置

◆今回の大野駅の編集をしながら、私の子供の頃を思い出しました。

父は踏み切り警手をしておりました。

発車の知らせが入りました。今では無人で自動警報器がついていて、

父は踏み切り警手をしており、列車が近づくと手動で遮断機を下ろし、車道側へは赤い旗をたらしていました。踏み切りの側には官舎があり、

ありません。



電話（チリチリリ）が鳴り、列車が駅を出ると、手回しの